

令和7年度 第3回能勢町地域公共交通会議 議事録

開催日時	令和8年1月29日(木) 午前10時00分～11時24分
開催場所	淨るりシアター 小ホール
出席委員 (19名中15名)	猪井 博登、葉 健人、田中 郁代、野津 俊明、暮部 光昭、石崎 宏司、 遠藤 洋一、井本 昌彦、東 亮一、北 晴美、舞野 伸介(田中委員代理)、 信田 政子、松本 久恵、藤原 伸祐、寺内 啓二
欠席委員 (4名)	栗原 岳志、今西 大樹、前田 信一、百々 孝之
傍聴者	3名
議題	①令和7年度事業国庫補助金事業の自己評価(案)について【協議事項】 ②令和8年度能勢町地域公共交通会議予算(案)について【協議事項】 ③乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況について【報告事項】 ④その他
議事録	<p>■開会</p> <p>■資料確認、公開・傍聴報告</p> <p>会長) ■会長挨拶 年度末に向けて、公私ともに多忙の中、出席いただき感謝申し上げます。 本日の議題は、次第のとおり協議事項2件、報告事項1件、その他である。 主な議題としては、令和7年度事業国庫補助金事業についての自己評価である。 現在取り組んでいる交通対策について評価を行い、更に取組を強化していくための重要な内容と考えている。 限られた時間ではあるが、委員におかれては活発な議論となるようお願いする。</p> <p>事務局) ■出席状況の報告 本日は、代理出席を含めて19名中15名の委員にご出席いただいている。</p> <p>■議題</p> <p><u>①令和7年度事業国庫補助金事業の自己評価(案)について(協議事項)</u> ※事務局より資料1のうち「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金事業の自己評価」について説明。</p> <p>副会長) 事務局より説明のあった「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金事業の自己評価」についてだが、目標の達成状況において、目標人数や収支率等について達成できていないところがあるものの、セーフティネットである公共交通として必要な事業を継続実施しているものと考えている。</p>

	いま事務局より説明のあったことについて、ご意見やご質問はあるか。
委員)	資料1の中段にある“※印”は何を意味するのか。また、“乗合率”という表現があるが、その定義についてはどのように整理されているのか。例えば、家族での利用の場合に利用人数は2人となるが、別の予約者同士が1台で乗り合わせる場合とは、区別するということになるのか。
副会長)	一便当たりの利用人数と関係するところであるので、まず資料3の乗合タクシーに関する部分について、事務局より説明をお願いします。 ※事務局より資料3のうち、乗合タクシー部分について説明。
副会長)	資料3の左上部には“一便当たり利用者数”である1.18人と、“乗合回数”である165回という項目がそれぞれある。“乗合率”という文言がいずれを指すのかが明確に定義されていないということかと考えるが、事務局いかがか。
事務局)	“一便当たり利用者数”である1.18人という数値をいかに向上させるかという点を念頭に説明を行っていた。ご指摘のとおりであるので、定義については整理し、また“乗合率”という表現についても検討したいと考える。なお、資料1の※印については記載誤りである。
委員)	停留所の設置箇所についてだが、病院等については令和7年4月の運行区域拡大以前から設置されていたものか。
事務局)	そのとおりである。区域拡大に際しては、主に路線バス沿線について阪急バスと協議の上、設置している。
副会長)	他にご意見やご質問はあるか。 (意見、質問等なし)
副会長)	それでは、資料1のうち「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金事業に係る自己評価」については、事務局より説明のあった評価内容とするものとしてご異議等ないか。 (異議なし)
副会長)	それでは、続いて資料1のうち「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金事業に係る自己評価」について、事務局より説明をお願いします。

	<p>※事務局より資料1のうち「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金に係る自己評価」について説明。</p>
副会長)	いま事務局より説明のあったことについて、ご意見やご質問はあるか。
委員)	阪急バス利用促進冊子“ノリセツ”はどこで配架されているものか。公民館などに配架されていないのであれば、配架を検討してみてはどうか。
副会長)	全戸配布は難しいかもしれないが、公民館や人が集まる箇所に配架するというのは効果的と思われる。また、配架先の案内も併せて行うことでより効果的な周知になるかとも思われる。
事務局)	配架先の拡充、配架先の案内などについては、今後検討させていただく。
委員)	乗合タクシーの運行によって、路線バスの輸送人員が分散されているといったことは考えられないか。
委員)	路線バスの輸送人員の減少には、少なからず運賃改定が影響しているものと考えられる。直近、令和6年10月の改定時の前は、令和5年の同時期に行っており、比較すると令和6年に実施した運賃改定の方が、輸送人員の減少への影響が大きい。
事務局)	乗合タクシーはあくまで町内の交通手段であり、一方、路線バスは町外への交通手段であることから利用目的は異なるものと考ええる。 乗合タクシー利用者の約4割が路線バスへの乗り継ぎに利用されていることから、路線バスから乗合タクシーに利用者が移行したということは考え難い。どちらの交通手段においても乗継利用にはメリットがあるということから、路線バスの停留所沿いを乗合タクシーの停留所として追加設置したという経緯もある。
委員)	路線バスを利用して山下駅で乗降される人数は1日当たり230～240人程度である。路線バスへの乗継利用回数は9か月間で515件とのことであるが、一日当たりの路線バス乗継利用人数から見ればかなり少ない。この乗継利用が輸送人員の維持確保に一定寄与しているとは考えられるが、それがどの程度のものかという分析までは至っていない。
委員)	両方の交通モードにおいて、互いに良い影響があればという趣旨で質問をした。人件費をはじめとする運行経費は総じて増加しており、運賃改定で対応できなくなると減便といった可能性もある。また、いつまでこうした補助金がもらえるかは定かではない。

副会長)	この地域間幹線系統確保維持費国庫補助金については、収支率の要件もあるが、平均乗車密度が5人に満たない場合などは、補助の対象外となる場合もある。この国庫補助金が受けられなくなれば、西能勢線の赤字欠損分に補助を行っている能勢町の財政負担額が増えることになる。
委員)	一週間に一度利用するなど、地域の交通手段を意識的に利用していかないと維持していくのは難しい。
副会長)	宿野系統の収支率も、現状の平均乗車率から見ると厳しい状態である。他にご意見やご質問はあるか。
委員)	目標の達成状況に関して、特に口山内系統は輸送人員、収支率ともに目標を達成できていないようだが、評価をBとしているのはいかがなものか。事務局の説明にあった生産性の向上への取組というのは総合評価で見るとべき項目であり、目標・効果達成状況では、B評価とする要素が見当たらないように感じるがいかがか。
副会長)	運輸支局に確認だが、仮にC評価とすることで補助が受けられなくなるということはあるか。あくまで自己評価という認識でよいか。
委員)	これについてはあくまで自己評価であり、この結果を受けて二次評価を実施する。そのため一次評価をC評価とする必要があるかという点については、運輸支局として回答するのは難しい。
副会長)	目標・効果達成状況に基づいて機械的に判断するのであれば、この会議で議論する必要はなくなる。委員の皆さんがどのように判断するかによるものと考えるがいかがか。
委員)	昨年度は大阪府で一次評価を実施しており、B評価とした。その評価に際しては、目標に達していないものの、昨今の人件費の高騰や物価高騰なども考慮し、総合的に事業評価を行ったものである。 収支率を目標値として設定する場合には、物価高騰等の影響は別途考慮するなどの記載を付している場合もあった。
副会長)	それでは、資料1のうち「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金事業に係る自己評価」については、事務局より説明のあった評価内容とするものとしてご異議等ないか。 (異議なし)

	<p>②令和8年度能勢町地域公共交通会議予算(案)について(協議事項)</p> <p>※事務局より資料2について説明。</p>
副会長)	<p>事務局より説明のあった「令和8年度能勢町地域公共交通会議予算(案)」について異議等ないか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局)	<p>③乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況について(報告事項)</p> <p>※事務局より資料3のうち、妙見口のせ号の利用実績部分について説明。</p>
副会長)	<p>事務局より説明のあった「乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用状況」についてご意見やご質問はあるか。</p>
委員)	<p>乗車運賃には障がい者割引があるが、その割引分について運行事業者への補助などはあるのか。</p>
委員)	<p>タクシー事業者でも障がい者割引があるが、補助等はなく全額事業者負担が基本である。</p>
副会長)	<p>路線バス運行事業者においても同様である。</p> <p>乗合タクシー及び妙見口のせ号についても、運賃収入等を委託料から差し引いた金額を町が負担する形だが、障がい者運賃については、特別に充当しているようなことはあるか。</p>
事務局)	<p>障がい者運賃の設定に際しては、交通事業者の事例を調査したところ、一般運賃の半額程度としているところが多かったため、同様の水準で設定した経緯がある。</p> <p>また、障がい者運賃の割引額については、本町以外の財源等から特別に充当しているということはない。</p>
副会長)	<p>他にご意見やご質問はあるか。</p>
委員)	<p>能勢分校の生徒数はどの程度か。</p>
事務局)	<p>70名程度と思われる。</p>
委員)	<p>妙見口のせ号以外で通学されている生徒の通学手段は、徒歩、自転車、親の送迎などであるのか。</p>

事務局)	妙見口のせ号以外であれば、阪急バス山内系統で通学されている生徒もおられる。また、それ以外では徒歩、自転車、親の送迎などで通学されている。
委員)	親の送迎負担というものも公共交通の枠組みの中で課題となってきている。事務局の負担をこれ以上増やすことはどうかと思うが、将来的な需要に応えるという点で、若者支援の観点から学生へのバス通学補助などの施策も考えられる。
副会長)	<p>すぐに対応できるかどうかは分からないが、貴重なご意見である。</p> <p>例として、豊能町は通学補助を開始しているとのことでもあるので、今後、情報共有などの対応をいただければと思う。</p> <p>豊能町の会議でも話した内容となるが、私が在籍している大学の中部支部で得られた情報を共有させていただく。三重県内の事例では、交通アクセスが1時間圏内の地域に所在する高校数と20歳～30歳の人口割合に正の相関が見られるという分析がある。</p> <p>能勢町には、町内に高校があり、これを維持しているという良さがある。豊能町が人口を増加させた背景には、阪急宝塚本線沿線の高校に通えるという点も寄与したものと思われる。</p> <p>公共交通の整備は、町外の高校や大学であっても通える学校があるという認識の醸成から、一度町外へ転出しても子育てができる町ということからUターンで転入いただける可能性にもつながる。</p> <p>豊能町の公共交通会議において、高齢者の移動の足として公共交通が担う部分も大切だが、人口維持のためには、若者支援や通学支援という視点も重要ではないかという意見があり、私も大切であると感じた。</p>
副会長)	<p>他にご意見やご質問はあるか。</p> <p>(意見質問等なし)</p>
副会長)	<p>④その他</p> <p>各委員においてご意見や情報提供などあるか。</p>
委員)	<p>我々もだが、阪急バスなど路線バス事業者においても運転手確保などに苦慮されているようである。また、タクシー運賃は通常2～3年で改定されるが、昨年11月にタクシー運賃が改定された。大阪府に限らず全国的に上昇傾向であることはご理解いただきたい。</p> <p>ガソリンの暫定税率の廃止などもあったが、人件費などは上昇しており、今後も現状の経常経費で運行していけるかどうかは、出来る限り尽力していくが不透明である。</p> <p>また、車両について、一便当たり利用者数を上げていくという上で、能勢町では</p>

	<p>シエンタで運行しているが、猪名川町ではボクシーを使用している。こういった車両の導入についても、経費等を試算した上で必要に応じた入替を検討していきたい。</p> <p>山形のグループ会社にて貨客混載事業を行っている。以前は、能勢町、豊能町や箕面森町の間で、市町をまたいだ運行があった。将来的に北大阪急行の延伸などの話もある中で、貨客混載事業を実施できればと考えている。</p> <p>副会長) 複数の自治体が連携して事業を実施することは良い考え方である。 その他、各委員においてご意見などあるか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>事務局より2点連絡事項とのことである。</p> <p>事務局) 1点目は、公共交通ガイドブックを更新し、広報4月号への折込にて町内配布を予定している。 2点目は、今年度末で任期満了の委員には3月中に所属団体等に次期委員の選出依頼をさせていただく。</p> <p>会長) ■閉会 長時間、慎重審議いただき御礼申し上げます。 本日、事業の評価をいただいたところであるが、目標達成まで届いていない項目もあり、厳しい状況下ではあるが、引き続き、本会議にて議論いただきたい。 また、今年度を通じて様々なご意見やご指摘を頂戴し、改めて感謝申し上げます。 委員を離れる方もおられるが、意見等あればいつでもお声がけいただきたい。 本日の能勢町地域公共交通会議は、これをもって終了とする。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------